

【能登半島地震】聖隷浜松病院災害派遣医療チーム（DMAT）
「連携不可欠」切れ目のない支援活動実施

能登半島地震において、静岡県からの要請を受けて聖隷浜松病院災害派遣医療チーム（DMAT）は、静岡県の災害派遣医療チーム DMAT の第 1 次隊（聖隷 DMAT 第 1 次隊）及び第 3 次隊（聖隷 DMAT 第 3 次隊）の一員として、医師・看護師ら 11 名が派遣され、珠洲市総合病院（石川県）での活動を中心に傷病者搬送等医療支援に従事しました。大規模災害時には各機関が連携し対応することが非常に重要です。今後も今回同様聖隷三方原病院 DMAT はもちろん他施設 DMAT・各機関と協力し、引き続き支援にあたってまいります。


【聖隷施設連携でシームレスな支援活動実施】

聖隷 2 施設共同で後方支援体制・連絡体制を構築したことで現地派遣隊の活動をスムーズに行うことができ、聖隷 DMAT 間で活動を引き継ぐことによりシームレスな支援活動を実施しました。

■救急車の連携

3日：聖隷 DMAT 第 1 次隊が集参拠点公立能登総合病院に当院救急車とレンタカーで到着。

傷病者搬送等医療支援活動を行った。

5日：聖隷 DMAT 第 2 次隊（聖隷三方原病院 DMAT）と合流・当院救急車を引き継いだ。

8日：聖隷 DMAT 第 3 次隊到着。聖隷 DMAT 第 2 次隊と合流し、当院救急車を引き継いだ。


■ドクターヘリと救急車との患者搬送における連携

・珠洲市総合病院から聖隷 DMAT 第 1 次隊が救急車で患者搬送。

近隣グラウンドに着陸している聖隷三方原病院ドクターヘリに患者を引き渡した。

・自衛隊ヘリコプター 2 機も近隣グラウンドへ着陸。13 名の傷病者搬送を他病院の DMAT と協力して行った。


【肝胆脾外科主任医長 伊良部 真一郎医師のコメント（聖隷 DMAT 第 3 次隊）】

今回、珠洲市総合病院の支援指揮所本部長として活動。防ぎ得た災害死を最小限に留めるために、次々にやってくる傷病者の診療を支援し、ドクターヘリや自衛隊機、DMAT カーを駆使して被災地外への搬送を行うだけでなく、絶望的なまでに不足した食糧や救援物資を届けるための支援経路の確立などを行うことで、自らも被災し厳しい状況の中でも被災地の医療を守るために奮闘する現地医療スタッフを支えることを心がけました。このような大規模災害での活動は、第一線に立つ DMAT だけでは十分な役割を果たすことはできず、後方支援やロジスティックなど病院としての総合力が重要です。聖隷浜松病院、そして聖隷福祉事業団の総力を挙げた支援活動が、わずかでも被災地で苦しむ人々の助けになれたなら幸いです。

取り上げていただける際は、予め下記へご一報ください。よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 北岡・太田 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763